

バングラデシュネトロナ県ハオール地域における住民主導による気候変動適応化農業の推進を通じた在来品種の再生と保全 (Peoples led regeneration and conservation of indigenous species through promotion of climate change adaptation agriculture in Haor area, Netrokona district, Bangladesh)

活動地域  バングラデシュ



農民による適切な品種選定のための試験栽培

課題

ハオール地域では、雨期は漁業、乾期は稲作という伝統的な暮らしがあったが、鉄砲水や土砂流入等が近年頻発し、住民の従来の生活様式が成立しない状況になってきている。

目標

ハオール地域の豊かな生物多様性を保護し、異常気象による災害へのレジリエンス構築と、持続可能な天然資源管理に向けた住民主導の気候変動への適応方法構築を目指す。

今後の展望

能力強化研修で学んだことを実践し、自然災害発生時への対応能力を高める。また、様々な課題に関して会合や対話を定期的に行い、住民による行動計画に基づき、住民や行政、NGO等を巻き込み問題解決に挑む。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 活動1 住民による気候変動適応化農業への理解促進：事業地2郡で合計22の組織が形成され、各地域で行動計画が作成された。また、256人が10回の能力強化研修に参加した
- 活動2 行政サービスへのアクセスの向上：行政とコミュニケーションする機会が増え、事業地で合計896世帯が行政からの支援を受けた
- 活動3 ハオール地域及び国レベルでのアドボカシーとネットワークング：地域のステーキホルダー同士がつながり、意見を交換したり、知見を共有する場を設け、地域としての結束力が高まり、協力関係が拡大した



乾期(ロビ)の野菜栽培の様子

能力強化研修受講者数 **256人**

行政からのサポートを受けた世帯数 **896世帯**

今年度計画の達成度 **85%**

全体計画の達成度 **22%**

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

昨年、コルモカンド郡で洪水が発生し運河が埋まった。また、農地へ砂が流入し、農民は作物を栽培できなくなっていました。

工夫した点

行政やNGO、ジャーナリスト等が問題解決のため共有会議、対話や記者会見を実施し、農地保護のため協力し仮堤防を建設した。

〒350-0046

埼玉県川越市菅原町7-16-302

電話：070-5363-5858

E-mail：info@sharetheplanet.jp

HP：https://sharetheplanet.jp/

